

Yame

議会だより八女

笑顔あふれる未来へ、一歩ずつ

2026

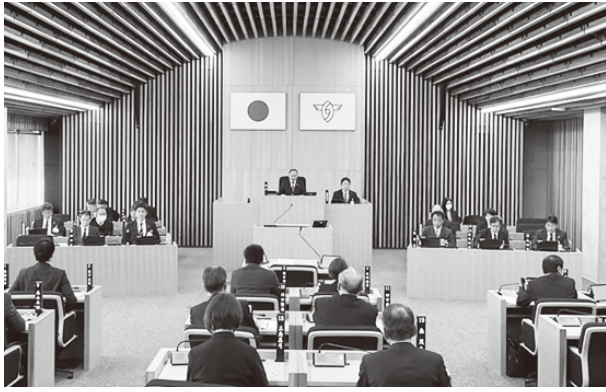
5

No.192

春の訪れ

ミヤシノシャクナゲ園(星野村)より

- P2 : 一般質問
- P11 : 行政区長会と市議会との意見交換会
- P12 : 定例会
- P21 : 委員会からの活動報告
- P22 : まちの声 (インタビュー)



一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取り組みを市民に明らかにします。

※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。

3月定例会 質問者・質問事項一覧

高山 正信 議員 (P3)

- ①八女市の農業の現状について
- ②立花町光友地区のまちづくり（土地利活用）について

川口 堅志 議員 (P3)

- ①道路河川愛護活動の在り方について
- ②商工業の振興について
- ③公共施設の在り方について

森 茂生 議員 (P4)

- ①国民健康保険税について
- ②農業について

水町 典子 議員 (P4)

- ①水道事業の現状と課題について
- ②災害時に安心できるトイレ環境について
- ③資源ごみの分別回収について

久間 寿紀 議員 (P5)

- ①支所機能について
- ②山間部の林業について
- ③山間部の道路管理について

栗原 吉平 議員 (P5)

- ①都市交流事業の課題について
- ②岩戸山歴史文化交流館や南北朝の歴史的資産の活用について
- ③林野火災の防火対策について

石橋 義博 議員 (P6)

- ①公立八女総合病院について市の考えは
- ②令和8年度に新設される産業経済部について

牛島 孝之 議員 (P6)

- ①八女市の農業、林業に対する考えは
- ②八女市の企業誘致についての考えは
- ③八女市の教育問題について
- ④矢部川の洪水対策について

小山 和也 議員 (P7)

- ①有害鳥獣対策について
- ②プレミアム付き商品券について
- ③八女市全域の携帯電話の電波状況について

原田 英雄 議員 (P7)

- ①魅力ある教育・子育て環境の構築について
- ②安心・安全な飲料水の供給確保について
- ③八女茶の振興対策について

三角 真弓 議員 (P8)

- ①今後の地域医療の在り方について
- ②長引く物価高騰による市民生活への影響について
- ③地域猫への対応について

坂本 治郎 議員 (P8)

- ①循環型農業及びオーガニック推進の可能性について

高橋 信広 議員 (P9)

- ①人口減少対策について
- ②健康寿命の延伸について
- ③道路河川愛護について

花下 主茂 議員 (P9)

- ①行政DXの推進について
- ②一般国道3号広川八女バイパス事業について
- ③太陽光発電事業と地域環境の調和に向けた取り組みについて

古賀 邦彦 議員 (P10)

- ①災害対策について
- ②教育行政について
- ③高齢者運転免許証自主返納支援事業について
- ④公園整備について
- ⑤八女市公式ホームページの改善について

堤 康幸 議員 (P10)

- ①森林資源の活用策について
- ②中山間地域の優良農地保全策について



映像配信
サイト



国県補助による農地整備事業の地元負担軽減について、どう考えるか

市長 受益者負担の在り方を見極め、負担軽減も含め、土地改良の推進に取り組む

農業の現状について

議員 農地の生産性や作業効率向上の取り組みをどう進めるのか。

市長 地域計画を基に集約化を進めるとともに、多様な担い手確保で農地維持を図る。

立花町光友地区のまちづくりについて

議員 八女東部地域の活性化について将来像をどう描き、取り組むのか。

市長 東部地域の環境変化を踏まえ、地元と議論しながら、企業誘致など

議員 地域の発展を進めていく。立花義務教育学校の開校スケジュールは。



課長 基本計画に基づき

設計や用地確保を進め、令和11年度開校を目指す。

議員 義務教育学校体育館は中学校で必要な面積の規格を満たさない中、立花体育館の在り方をいつまでに判断するのか。

課長 立花体育館の利用状況を検証し、統合した新たな体育館の建設も含めて検討する。

議員 体育館の整備の方向性をいつ示すのか。

教育長 学校の特色や周辺体育館との調整を踏まえ、令和10年度から体育館整備基本計画を策定し、早期に方向性を示す。

早期に方向性を示す。



映像配信
サイト



道路河川愛護活動の在り方についてどう考えているか

市長 地域を聞きながら、効果的な在り方について検討する

議員 道路河川愛護の担

い手不足についての考えは。

市長 人手不足が深刻であることは認識している。作業が困難な箇所等については、施設管理班や市の委託業者が対応している。

議員 道路維持管理、特に道路愛護の仕組みや在り方についての考えは。

課長 道路管理者のみでは対応は難しく、これまで同様に地域の協力をいただきたい。また報償金制度については、今後も

実情に合った制度になるように努める。



清掃した河川

商工業の振興について

議員 商工業に対するDX推進の必要性をどのように捉えているのか。

課長 商工会議所や商工会が、IT人材育成や専門家派遣等に取り組んでおり、市も商工団体と連携して、IT化やDXの推進につながる取り組みを支援していく。

議員 商業者は昨年の碾茶(※)の高騰による流通の乱れによって、打撃を受けている。茶商や生産者など、関係者とのバランスが取れた政策が必要ではないか。

課長 輸出戦略と国内消費拡大の両面から、生産加工、販売と各段階のバランスの取れた政策を展開し、茶業界全体の持続的な発展が必要であると考える。

※碾茶
抹茶の原料となる茶葉。



映像配信
サイト



国連で決議された「家族農業の10年」とは

市長 家族経営の農業を、国際社会が支援、強化していく期間である

国民健康保険税について

議員 国保税が高い原因は、国の負担率が以前は50%であったが、現在は25%に減少したためである。元の負担率に戻すべきである。あるノンフィクション作家は「食費を1日700円まで切り詰めても、国保料6万8千円が払えない、6人家族を苦しめる国保の重い負担。徴収のためなら違法な差押えまでやる。」と述べている。ここに国保税が非常に高い現実があるがどう考えるか。



有機農業について

議員 千葉県いすみ市は、学校給食に有機米を使い始め、僅か4年で全量42トンを賄うまでになった。現在は有機野菜類まで広がっている。田舎暮らしを取り上げた月刊誌では、住みたい田舎ランキングで10年連続トップを維持している。その結果、非常に有名になり、有機米の販売先にも困らず、移住者も増え、活性化している。このように学校給食をきっかけに良い方向にドンドン進んでいる。大規模化は中山間地では難しいと考えるが。

有機農業には様々な知見が必要であり、農協や農業従事者と議論していきたい。

水道事業の現状と課題について、市水の給水エリアは

市長 旧八女市全域と旧立花・上陽・黒木・星野の一部。世帯数の割合は65%

映像配信
サイト



飲料水改善事業補助金とは。

局長 上下水道整備区域外で、井戸のボーリングや水質悪化改善のための浄水器設置等に対し、補助率は事業費の2分の1で、1戸当たり限度額20万円を補助するもの。

物価高騰により工事費が増大する中、補助金の増額の考えは。

市長 必要に応じて、見直しを図りたい。

災害時に安心できるトイレ環境について

議員 下水道整備区域内にマンホールトイレ(※)を設置する考えは。

その有効性や優先度について、研究していく。

議員 災害時のトイレ環境について、市長の考えは。



子ども用ミニ便座とは、大人用トイレを子どもの大きさに合わせ、落下防止や恐怖心を払拭し、使用しやすくする補助便座

トイレのバリアフリー化や快適性の向上を含めた災害対策を充実していく。

プラスチックごみの分別回収について

議員 プラスチックごみの分別回収を、限定的にモデル地区で導入できないか。

モデル地区の先行実施は、市民周知の機会や課題の洗い出しにも効果的で有効的と考える。

※マンホールトイレは下水道整備区域内において、災害時にマンホール上に簡易なトイレ設備を設けて使用するもの。

昨年6月定例会の一般質問で提案・要望していたトイレトレーラーと全指定避難所への子ども用ミニ便座25台の配備が完了しました！



映像配信
サイト



上陽支所の移転複合化の進捗状況は

市長

利便性や防災拠点としての充実を図り、施設の集約化・複合化を進める



昭和35年建築の上陽支所

議員 施設の建設場所や計画の進捗状況は。

課長 場所は旧上陽保健センター跡地を活用する方針である。複合施設に向けた実施設計業務を令和8年度予算に計上している。

議員 複合施設の機能は。

課長 上陽支所や公民館、図書館、JAを取り込んだ複合施設を考えており、地域の居場所づくりにも努めていきたい。

議員 支所機能の充実の考えは。

課長 企画政策課に中間政策係を新設し、各支

所の課題を、本庁と支所が一緒になって解決していくための組織体制の強化を図る。

山間部の道路管理について

議員 人口減少が進む山間部の道路管理は、この先どうするのか。

課長 現在は施設管理班や委託業者が対応している。加えて道路維持に関する新規の予算を計上している。

議員 生活道路に倒れそうな立木の処理に、森林環境税や森林環境譲与税を財源とする補助金は使えないのか。

課長 山林関係の補助金の活用については、今後関係課と情報を共有して検討していきたい。



映像配信
サイト



姉妹都市、友好交流都市、連携協定等交流都市との交流事業の今後は

市長

地域の知名度向上や経済産業面に重点を置きたい



平成27年建築の岩戸山歴史文化交流館いわいの郷

議員 都市交流事業の今後の展望は。

市長 シティプロモーションや輸出促進の観点から、広く八女市の魅力を発信し、経済的な発展につながるよう交流自治体を含む様々な企業や団体と多方面で交流に取り組んでいく。

議員 林野火災の対策は。

市長 森林法に基づき火入れ許可に関して、延焼防止処置等の個別指導を徹底することで作業の安全確保と火災の未然防止に努める。

議員 消防団員の減少と高齢化対策は。

市長 少子高齢化による人口減少が進む中で、必要な人員や機材を確保することは重要である。消防団への加入促進はもとより従来の枠組みを超えた相互補完や効率的な組織運営、さらには機能の充実を図る。また、近隣市町との広域的な連携体制の構築を推進し地域全体の消防力の維持・強化に万全を期していく。

議員 岩戸山歴史文化資料館と南北朝の歴史的資料の活用は。

教育長 岩戸山古墳をはじめとする史跡や南北朝時代の資料や文化財など、長い歴史の中で積み重ねてきた多彩な魅力を観光や地域活性化につなげるため効果的な情報発信を進める。



映像配信
サイト



公立病院の今後の財政負担について どう考えるか

市長 構成自治体の広川町と共に対応し、自助努力を
促しながら協議していく

議員 公立八女総合病院
企業団は、10億円の借入
れを八女市と広川町に正
式に申し込んだ。病院議
会において、広川町長と
議長は、この説明内容で
は議論の余地もないと、
実質借入れ拒否とも取れ
る発言があったが、市長
の考えは。

市長 広川町側の発言は
承知している。私の認識
としては、未来永劫貸し
出せないではなくて、もっ
と実効性のある再建計画
を含めた経営計画をしつ
かり立てるように指示が
あったものと考えている。本
市もしかるべき相談に乗
りながら、企業団の再建
計画の再策定や見直しを
見守っていく。



公立八女総合病院

県道久留米立花線の橋梁架け替えは、 いつ頃完成予定なのか

市長 現在、県から完了予定については示されていない

議員 架け替えに対する
説明会は何回行われたの
か。

市長 路線が通過する3
つの行政区において、そ
れぞれ2回の合計6回行
われた。

議員 説明会で出席者よ
り発言された意見や要望
はどのようなものがあつ
たのか。

市長 主な意見や要望に
ついては事業のスケジュ
ールに関するものや用地
買収、物件移転補償に関
するもの、内水と外水に
関するもの等があつたと
認識している。

議員 なぜ下流域に対す
る説明はなかったのか。

市長 地元説明会につい
ては、路線が通過する行

外水氾濫
河川の水位が上昇し、堤防を
越えたり破壊するなどして堤
防から水があふれ出すこと。

政区を対象に行つたと県
より回答があつた。

議員 単なる道路改良工
事ではなく、橋梁架け替
え工事により橋が約2
メートル上がると流量が
増え、当然堤防に対する
圧力も増加するのは。
市長 指摘の箇所につい
ては、建設課と私も現地
を確認したい。今回の橋
梁架け替え工事により、
下流域が負の影響等を受
けることがないよう、しつ
かりと対策は協議してい
きたい。

映像配信
サイト



津江付近から矢部川上流を望む



映像配信
サイト



鹿による被害状況の把握はできているのか

課長 令和6年に初めて被害報告があり、対策を進めている



議員 イノシシと同様に、鹿の被害防止や捕獲のための措置はあるのか。

課長 被害防止策として、苗木のツリーシールドの設置をしている。また、鹿対策用の高さのあるワイヤーメッシュ柵などの防止対策を進めていく。

議員 有害鳥獣の捕獲後の処理の考えは。

市長 ズビ工肉を中心として資源の有効活用と共に、豚熱対策を前提に民間施設を利用した焼却処分を検討していく。

プレミアム付き商品券について

議員 プレミアム付き商品券の発行から16年余りが経ち、様々な課題が表れてきているが、市の考えは。

市長 プレミアム率や発行金額、事業者負担などの課題に対して、商工会や商工会議所などの事業者と政策効果が発揮されるような在り方について引き続き議論をしていく。

議員 八女東部の山間地域では、居住地でも携帯電話がつかない地域がある。市は状況を把握しているのか。

課長 令和4年に一定の不感地域対策は整ったという見解は出たが、居住地外では、まだ不感地域がある。引き続き通信会社には社会的貢献を果たすよう求めていく。

水道の未整備地区における井戸掘削費など飲料水改善事業補助金の増額改定を

市長 上水道との負担の平準化を踏まえ、補助金の在り方を検討していく



映像配信
サイト



魅力ある教育・子育て環境の構築について

議員 本市の自然環境や特性を活かして、子育て世代に選ばれる魅力ある環境の整備が必要である。本市には県営公園等の施設がないので、豊かな自然環境を活かした全天候型自然公園や木工・木材遊具体験交流施設、川の生き物体験学習施設など、単なる公園にとどまらない県営施設の誘致に取り組めないか。

市長 現在、行っている公園整備に関する調査を早急に取りまとめ、今後の整備につなげるとともに、県営施設の誘致も選択肢の一つとして要望していく。

安心・安全な飲料水の供給確保について

議員 全国で水道管の老朽化に伴う事故が発生している。本市の水道管の更新や耐震化はどのようになっているのか。

局長 現在の耐震化率は36・4%であるが、管路更新時に耐震性能を有する管を埋設していく考えである。管路の布設時期や重要度により優先順位を定め、主要な管路から計画的に耐震化を進めていく。

水さでみを！
渇地の森を
源の女なま
の水八女ま
命の水八女ま
は知るであ
水でするん
守り育て守



映像配信
サイト



公立八女総合病院の経営安定化計画も踏まえた地域医療の現状と課題は

市長 旧町村地域は医療機関数が少なく、旧八女市と医療環境が大きく異なる

議員 開業医の閉院等に伴う医療提供の考えは。在宅医療の重要性が高まる中、閉院する診療所等を補完する公立八女総合病院等の果たす役割がより重要となる。

議員 高齢者のがん患者が増え続けており、今後緩和ケアも増加すると思われるが在宅支援療養病院の「みどりの杜病院」の状況は。

課長 令和5年度の新規訪問診療は138件、在宅看取りは117件と公表されている。

長引く物価高騰による市民生活への影響について

議員 生活困窮者への対応は十分なのか。

市長 国の非課税世帯への給付金の支給や、相談



支援団体による地域猫の一時保護の状況

支援体制の強化、さらに社協のフードバンク事業への支援等を行っている。

議員 子どもを取り巻く生活への影響や十分な食事は摂れているのか。

市長 生活を下支えする支援に取り組むと共に、こども家庭センターが相談窓口となつて関係機関と連携して対応していく。

地域猫への対応について

議員 民間団体での不妊去勢手術、譲渡会、一時保護活動等は市を挙げて取り組むべきでは。

市長 動物との共生を図るため、今後も支援団体と地域住民、行政の連携強化に努める。



映像配信
サイト



八女茶の伝統を守りつつも、有機農業と多様な挑戦の在り方の考えは

市長 伝統を守り、変革を取り入れ、多様な挑戦が生まれるよう支援する

議員 有機農業や環境配慮型農業をどのように位置づけているのか。

課長 有機農業は食の安全性を高めるだけでなく、環境保全や持続的な農業を図る上で重要な取り組みと考える。

議員 有機JAS認証農家数はわずかであり、拡大には課題も多い。一方で需要は確実に存在しているが、推進の考えは。

課長 付加価値向上や安定的な販路の確保等に力点を置きながら推進する。

議員 市場づくりのため、見える化や独自基準の整理に取り組む考えは。

課長 志ある農家への支援など、農産物の高付加価値化を推進し、販売方法については生産者などと協議していく。

議員 本市には有機農業や自然栽培を実践する人がおり、新しい挑戦が生まれている。有機農業の小規模な実践拠点の整備や支援を行い、さらに人材育成や交流人口拡大につなげる考えは。

市長 これまでの農業の伝統は守りつつも、時代に応じた変化が求められ、新しい挑戦に光を当てることは重要である。小規模な実施拠点の取り組み等も研究し、有機農業を選択肢の1つとして推進していく。





映像配信
サイト



八女・筑後結婚サポートセンターの課題をどのように考えているのか

課長 会員数が伸び悩んでいる状況であり、会員増の方策に取り組む



「八女・筑後結婚サポートセンター」が入居している筑後市交流センター（チクロス）

議員 SNSを活用して、結婚サポートセンターの八女市在住の会員を増やすべきでは。

課長 DXを通じて、幅広く周知できるような手法を検討する。

議員 結婚サポートセンター以外の婚活に対する支援は。

課長 新しい事業として、周辺に知られにくい出会いの場を創出するメタバースマッチングのイベント事業を計画している。

ふるさと住民登録制度（※）は

議員 ふるさと住民登録制度の創設を含めて、関係人口に対する見解は。

市長 関係人口の定義は国も曖昧であることに問題意識を持って、ふるさと住民登録制度が創設されると捉えている。国の検討状況を注視しながら呼びかけがあれば積極的に活用する方針である。

議員 健康寿命の延びに健康寿命を延ばし地域社会・経済活動の活性化に

議員 健康寿命の延びに対する見解は。

市長 高齢化が進む中で今後の持続的な発展、まちづくりに当たっては、健康寿命が延伸すれば、高齢化が課題でなくなることを含めて非常に重要なことである。延伸するための方策は、最新の研究、デジタル科学技術の進展等に依拠してしっかり考えて検討していく。

※ふるさと住民登録制度
居住していても住民として登録できる制度で、その自治体から情報提供や行政サービスが受けられる。

花下主茂



映像配信
サイト



太陽光発電事業に関する制度設計の必要性について、市の認識は

市長 ガイドラインではなく、条例による制度設計が妥当だと判断している



行政DXの推進について

議員 行政システム標準化（※）による費用負担が増加する中、効果とのバランスをどう考えているのか。

室長 国が提示する長期的なメリットを最大限に享受できるように、着実に移行政業を進めていく。

議員 運用費の増加に対して、国への財政支援の要望は行っているのか。

室長 全国の自治体が共通して抱えている課題であり、強く要望している。

議員 DXでの単なる効率化ではなく、業務構造の見直しが必要では。

室長 BPR（※）により業務の在り方そのものを見直し、対面業務など人でないといけない業務へ振り向けていきたい。

太陽光発電と地域環境について

議員 制度設計における具体的な論点は何か。

課長 地域との調和を前提に、事業者責務の明確化や理解を得られるような説明責任のあり方を検討している。

議員 どのレベルの実効性を目指しているのか。

課長 規制型ではなく、関係法令では定められていない部分を制度設計の中に盛り込む補完型という形で制度構築を目指している。

※行政システム標準化
地方公共団体の基幹システムの統一を図る国の政策。
※BPR
仕事の進め方を一から見直し、無駄や重複を省きながら、より効率的で質の高い業務へと作り直す手法。

避難所指定体育館(総合体育館、三河小、岡山小、みさき学園)空調設置の考えは

古賀邦彦



映像配信
サイト



教育長

避難所機能の強化、耐災害性の向上のため、計画的に空調設置を進める



三河小学校体育館(避難所指定体育館)

議員 渇水対策について

議員 渇水状況が悪化した場合、給水車等の手配が間違いなくできるのか。

局長 福岡県や日本水道協会としっかり連携して対応する。

議員 事態の悪化を想定し、災害用井戸の総点検や井戸の開設場所を住民に周知する準備はできているか。

課長 災害用井戸の活用準備及び、開設する施設情報の住民周知の準備も行っている。

小中学校・義務教育学校体育館の空調設置の考えは

教育長 教育条件の公平性を考慮し、実証を行うことで空調設置を進めていく。

小中学校・義務教育学校トイレの令和8年度改善計画は

教育長 トイレの洋式化率向上を含めた改善を進める。令和8年度は、小学校2校のトイレの一部改修と中学校1校のトイレの全面改修及び増設を行う。

高齢者運転免許自主返納支援事業について

議員 利用者を運転免許証を有しない同居家族にも拡大できないか。

市長 事業の目的や趣旨により、利用者は返納者本人に限定している。今後も自主返納しやすい環境づくりのため、支援方法について検討を続けていく。

生徒ができています。児童が実証も体育の授業で使っています。夏場でも空調が心地よい状況です。

豊かな森林資源を活用するために、どのように取り組んでいくのか

堤康幸



映像配信
サイト



市長

八女材の利用促進や再造林の支援、路網整備・担い手育成に取り組む



主伐後、再造林され育成中の林地

議員 森林経営管理制度に基づく調査の現状は。

課長 県が実施した航空レーザー測量を基に、森林資源解析業務が今年度で終了する。令和6年度より順次、意向調査を進めている。

議員 現時点での傾向は。

課長 調査対象者489名の意向では、林業事業体への管理委託を希望する方が約半数である。

議員 森林経営の適・不適はどこで判断するのか。

課長 八女市林業振興対策協議会の中の専門部会の意見を聞いて進める。

議員 森林資源解析とは。課長 地図情報システムが基になっている。地形

や林道・作業道また樹種等の解析もできている。

議員 森林経営管理のためには道路が必要との現場の声を聞くが、考えは。

課長 林業振興に道路網の整備は必要不可欠であり、森林経営管理制度を進めて行く中で十分協議していく。

中山間地域の優良農地の保全策について

議員 保全のための手段は。

課長 園地情報や規模拡大の需要などを十分整理して仕組みを作っていく。また、園地再生のために、農地中間管理機構の事業も組み合わせて取り組む。

行政区長会と市議会との意見交換会

令和8年2月13日に行政区長会と市議会との意見交換会が開催されました。各地区の代表区長ら21名が参加され、行政区長会から意見交換のテーマとして「人口減少」が示されました。テーマについて、行政区長会から議会に対して出されたご意見・ご要望は下記のとおりです。

空き家対策

八女市では管理不全な空き家が増加し、衛生環境の悪化や倒壊の危険、防犯上の問題が深刻化している。市の条例や特別措置法に基づき、市から所有者へ改善を求めているが、指導に従わないケースも多く、解決に至っていない。地域の安全安心を守るため、草木の伐採やゴミ撤去など、実効性のある指導強化と今後の対応を求める。

農業後継者対策と耕作放棄地対策

農業を基幹産業とする八女市では後継者不足が深刻な課題である。この対策として大学の農学部を新設・誘致することを提案する。これにより若者流入や共同研究、空き家・遊休農地の利活用促進が期待できる。また行政区として、耕作放棄地の所有者に管理を依頼したり、所有者に了承を得て伐採作業を行っているが、予算面での制約などがあり、十分な対応ができず苦慮しており、今後の対応を求める。

道路・河川愛護の担い手不足対策

山間部での道路・河川愛護活動は、高齢化と人口減少により限界に達している。作業負担の増大から日数の長期化や範囲縮小を余儀なくされる行政区もある。数年後には地域による維持が困難になると予想される中、担い手不足の解消に向けた早急な対策を求める。



トピックス

第16回八女市こども議会

(1月31日、八女市議会議場)

八女市青少年育成市民の会主催のこども議会が八女市議会議場で開催されました。市内の各小学校・義務教育学校の代表者14人がこども議員として参加し、緊張しながらも自分の意見をはっきりと主張し、八女市をより良くしたいという気持ちが伝わってきました。



八女市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟研修

(2月3日、八女市役所)

県の職員を講師に迎え、福岡県の森林・林業の現状の把握と県産木材の供給力強化及び林業収益力の向上に向けた取り組み等を学びました。



令和8年度の**予算**決定

ふるさとの**恵み**と**誇り**を**未来**へ

3月定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、令和7年度八女市一般会計補正予算（第6号）のほか、条例の制定及び一部改正、令和8年度八女市一般会計予算などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意しました。令和8年度の各会計の当初予算は下記の表のとおりです。

※議案の賛否表は18～20ページ

▼令和8年度各会計の当初予算

区 分		予 算 額
一 般 会 計		479億円
特別会計	国民健康保険事業費	82億6997万円
	介護保険事業費	81億4929万円
	後期高齢者医療	15億1078万円
	矢部診療所	9405万円
	黒木町串毛財産区	75万円
	黒木町木屋財産区	330万円
企業会計（水道事業）		18億5281万円
企業会計（下水道事業）		21億6468万円

3月 定例会

用語解説

民生費：児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等

総務費：全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等

土木費：道路、河川、公園など公共施設の建設整備の費用

公債費：借入金の元本や利子などの返済費用

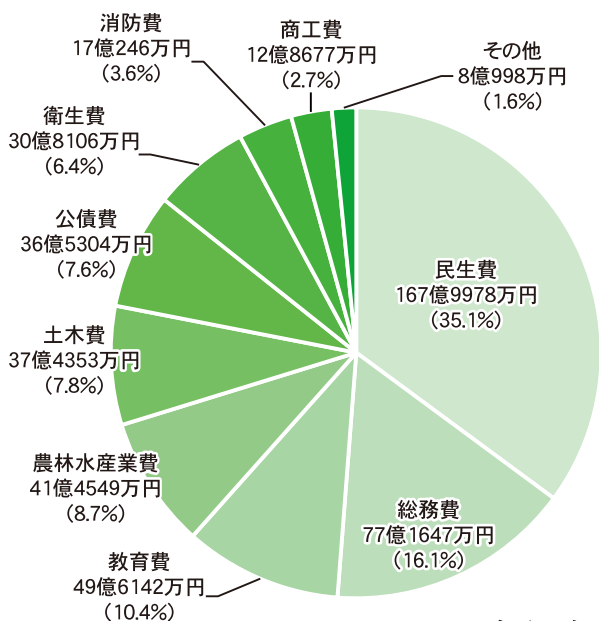
衛生費：一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

地方交付税：地方間の格差をなくすため国が配分するお金

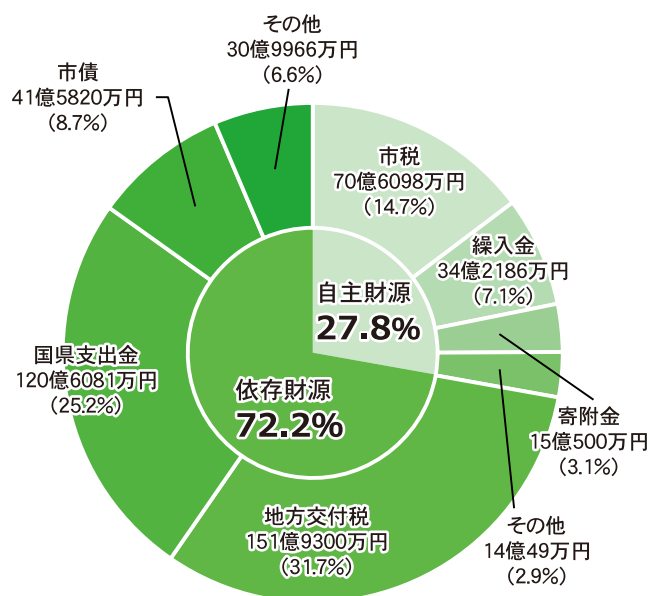
国県支出金：特定の事業のため国や県が市に出す交付金

市債：事業の財源に充てるための借金

歳出（支払うお金）



歳入（入ってくるお金）



令和8年度一般会計予算
479億円

(表、円グラフの予算額は、千の位を四捨五入)

小学校屋内運動場空調整備事業

予算額:2192万円

新規

指定避難所の小学校体育館については、災害時の避難所機能強化と地域防災力の向上を図るためパッケージエアコンを導入し、指定避難所以外の小学校体育館については、選定した2校で移動式スポットエアコンのレンタルによる実証を行い、その結果をもとに導入を検討する。



質疑のポイント

問 エアコンの指定避難所体育館への導入は理解できるが、どの学校にも平等に設置できないか。

答 理想としては、全校にパッケージエアコンを導入したいが、指定避難所以外の体育館では補助率が異なるという課題がある。災害時に避難者が生活する空間をできる限り、快適な環境にするため、指定避難所体育館にパッケージエアコンを整備したい。

政策形成推進事業

予算額:2204万円

拡充

2040年ビジョンの策定に向けて、市民や企業・団体と共に「なりたいまちの姿」を描く対話の場である「未来共創会議」を運営する。また、職員の政策形成・実行能力の向上と、外部人材を活用しやすい環境づくりを実施し、政策課題の解決につなげる。

質疑のポイント

問 2040年ビジョン策定の目的は。

答 1つ目は、市政運営の長期的な「指針」となること。2つ目は、市民と将来像を共有する「共通言語」として、まちづくりへの参画や共働を促すこと。3つ目は、目指す姿を明示して企業誘致や投資を呼び込み、地域経済を活性化させることである。八女市 2040年ビジョンを市が目指す戦略的ゴールと位置づけ、総合計画に基づき足元の施策を着実に実行していきたい。

シニアクラブ連合会活動促進事業

予算額:297万円

シニアクラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、長寿社会の実現と老人福祉の向上に資するもの。シニアクラブが行う事業に対して支援を行う。

質疑のポイント

問 増額を要望していたが、あまり上がっていないのでは。

答 シニアクラブ連合会各支部に、これまでの会員1人当たり72円から98円増額し、170円で計上した。しかし、会員的人数が減っているので補助金の総額への反映が少ない。他にも、各シニアクラブに会員1人当たり300円を400円に100円増額して計上している。



学校給食特色化事業

予算額:2億7871万円

新規

給食費負担軽減交付金を活用し、学校給食費の負担軽減及び給食の質の向上を行う。栄養バランスのとれた給食を提供すると共に、食育を推進し地域の文化や農業について学び、郷土愛を育む。

質疑のポイント

問 具体的な内容は。

答 子どもたちの記憶に残る給食の提供に取り組みたいと考えている。この事業は、今後、教育委員会だけでなく全庁から希望する職員を募って推進する予定である。





小児救急医療支援事業

予算額: 105万円

新規

八女筑後医療圏で対応できない時間帯の受診先となっている久留米小児救急センターは、近隣自治体の負担金や受益自治体からの協力金により運営されている。令和8年度より久留米広域小児救急医療支援事業の経費の一部を負担割合に応じて支援する。

質疑のポイント

問 事業の内容は。

答 八女筑後医療圏の小児救急は公立八女総合病院と筑後市立病院において、八女筑後医師会の協力により診療されているが、平日の22時までの対応である。それ以降の23時までは久留米広域小児救急センターに受診する人が多いことから、本市の診療体制を充実するもの。

各種検診・健診事業



予算額: 9496万円

拡充

特定健診における市独自の追加項目を実施することで、市民の健康増進、健康寿命の延伸を図る。令和8年度には、特定健診をはじめ、後期高齢者健診、20歳代30歳代健診の個人負担金を無料化することで受診しやすい事業とする。また、健康ポイントは終了する。

質疑のポイント

問 なぜ、健康ポイントを終了するのか。

答 特定健診の受診率向上に大変効果があった。しかし、近年の状況として、ポイント申請者数の伸びに比べて、受診率の伸び率はわずかであり、効果が低くなっている。今後は福岡県のアプリの活用も視野に入れ、市民全体の健康づくりに役立つような新たな企画を考えたい。

道路維持事業

予算額: 4億1567万円

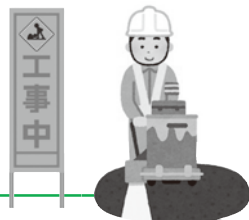
一部新規

道路を整備し、通行の安全を確保するための維持管理経費。

質疑のポイント

問 八女市道維持補修工事（アメニティ・ロード事業）（新規）とは、どのような事業か。

答 立花・黒木・上陽・矢部・星野の各地区において土木業者と半年ごとに単価契約を結び、道路補修や倒木の伐採など、緊急を要する場合に早急に発注・施工ができるようにする。まずは試行的に、高齢化と市道の老朽化が進む中山間地域で取り組み、旧八女地区においても導入したい。



乳児等通園支援給付事業

予算額: 1721万円

新規

保育所等に在籍していない0～2歳の子どもが、保護者の就労要件を問わず、月10時間まで、希望する保育所等に通園することを支援するもの。令和8年度から、事業の認可を受けた保育所等が事業を開始する。

質疑のポイント

問 こども誰でも通園制度と一時預かり事業の違いは。利用の区別を想定しているか。

答 こども誰でも通園制度は、家庭では経験できない体験活動などを通じて、こどもの育ちを応援する制度。これに対して一時預かり事業は、冠婚葬祭など保護者の都合で利用する事業。こども誰でも通園制度の利用時間を超えて利用を必要とする場合は、一時預かり事業の利用が想定される。



新規就農者育成総合対策事業

予算額:9265万円

拡充・一部新規

新規就農者等を含む多様な担い手の育成・確保の推進を図り、持続的な産地形成を図る。

質疑のポイント

問 親元就農支援給付金の補助要件はどうなっているのか。

答 本事業は、親の経営をそのまま継承する親元就農に対して支援を行うもの。対象者は、認定農業者等である親の後継者として親元就農する人。そのうえで、就農後は認定農業者である親と家族経営協定を結ぶこと等の要件を満たす必要がある。



中山間地域等直接支払制度事業

予算額:1億3813万円

中山間地域の耕作条件が不利な地域における農地活用の持続化と、農業生産の維持を通して農地の多面的機能を確保する。

質疑のポイント

問 令和8年度に本事業に取り組む集落協定数は、136集落と相当数減っているが、原因や要因の分析は行ったのか。

答 農業従事者の高齢化や、集落内における事務の担い手不足が大きな要因と認識している。令和8年度にはこれまで参加した197集落を対象にアンケート調査を行い、対策を考えたい。



南中学校校舎整備事業

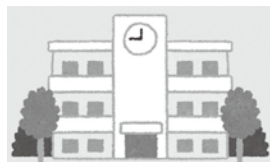
令和7年度八女市一般会計補正予算（第6号）
繰越明許費補正:7238万円

令和9年4月の南中学校及び筑南中学校の合併に向けて、南中学校の内部改修工事等（空調・トイレ・教室改修等）を行い、教育環境を整えるもの。

質疑のポイント

問 南中学校の教室数は足りているのか。

答 南中学校の教室数については、令和8年4月時点では足りているものの、令和9年度には不足が見込まれるため、令和8年度中に教室の整備を実施したい。



有害鳥獣対策事業

予算額:1億6322万円

拡充

有害鳥獣による農林産物の被害及び生活環境への被害が拡大しており、有害鳥獣捕獲員による捕獲活動への支援や侵入防止柵等の支援を行うもの。令和8年度から捕獲した鳥獣を一時保管する施設の整備や鳥獣の焼却処分を行う。

質疑のポイント

問 鳥獣一時保管施設として、プレハブ冷凍庫4か所の設置が予定されているが、いずれの地域も同意は取れているのか。

答 現在、各地域に相談しながら協議を進めている状況であり、まだ全ての同意は取れていない。



条例の制定・改正

条例とは、地方公共団体が自主的に制定するルールであり、法律等に違反しない範囲で定めることができます。条例は、法令の定めをもとにするものや、地域の特性やニーズに基づいて、住民の生活をより良くするために作られるものなど様々なものがあります。条例を制定・改正・廃止するには、議会での議決が必要です。

議案第5号

八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定 について

可決

改正の内容や理由・背景

コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービス（以下「コンビニ交付サービス」という。）による各種証明書発行は、市民の利便性向上と個人番号カードの普及を目的に進めてきた。コンビニ交付サービスの更なる周知と利用促進を図るため、コンビニ交付サービスを利用した証明発行手数料を、令和8年度に限り、1通10円にする。

また、コンビニ交付サービスのうち納税証明書は、市県民税のみを対象としているが、その理由は複数の税目記載を求められることも多く、納付直後は証明書に反映できないことから、窓口交付でしか対応できないことが多い。さらに地方公共団体情報システム標準化に伴い、サービスの維持が困難になったことから、納税証明書のコンビニ交付サービスを廃止する。

反対討論（森議員）

コンビニ交付サービスの証明発行手数料を10円にすることは、マイナンバーカードの利用促進のための国からの誘導である。また、納税証明書のサービス廃止は、あまりにも導入を急ぎすぎた結果、これらの欠陥を見過ごしていたのではないかと懸念される。さらに地方公共団体情報システム標準化に伴う、サービス維持の困難さや経費増は、八女市の問題というよりも、国がITエンジニア不足などの現状を無視し、全国の自治体を振り回している現状である。これらの理由により、本案に反対する。

議案第9号

八女市国民健康保険税条例の一部を改正する 条例の制定について

可決

改正の内容

令和8年度の国民健康保険税から「子ども・子育て支援納付金分」を追加する。

改正の理由・背景

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、子ども・子育て政策を強化する財源の一部を賄うため、令和8年度から毎年度、医療保険者から子ども・子育て支援納付金を徴収することが規定されたことに伴い改正するもの。

反対討論（森議員）

医療保険は病気やケガをした時など、必要な医療を受けられるよう備える制度である。「子ども・子育て支援納付金分」は、制度の目的と関係がない子育ての費用を医療保険に上乗せして徴収するというものである。どう考えても論理的な説明が見つからない。

賛成討論（高橋議員）

国による制度設計のプロセスや手続きには問題を感じる。しかし、将来を担う子どもや子育て世代に投資するという観点から、厳しい運営を余儀なくされている国民健康保険税を値上げすることは、やむを得ない改正であると判断する。

議案第29号 令和8年度八女市一般会計予算

可決

反対討論（森議員）

戸籍住民基本台帳費において、令和8年度のコンビニ交付手数料を10円にすることは、市民の負担軽減ではなくマイナンバーカード普及と交付率向上が目的であり、任意のはずのカード保持者のみを極端に優遇する施策は行政の平等性に欠け、納得しがたい不公平な格差である。また、人権・同和政策費において同和団体に対する補助金が減額されたことは一定評価できるが、同和地区の特別扱いは直ちに止めるべきである。

次に、児童給付費と児童福祉費については、旧八女市内で希望する保育所等に入所できない児童がいる現状に対し、早急に対策を講じるべきであり、近隣自治体が高校生まで医療費を無料化している中、八女市も同様に無料化すべきである。また教育総務費については、長年の運動により令和8年度から小学校給食への国・県補助が始まることを受け、ほとんどの近隣自治体が無償化に踏み切る中、八女市が小学校給食の無償化を見送ったことは納得しがたい。

賛成討論（原田議員）

令和8年度一般会計予算案は、総額479億円と過去最大規模の積極予算である。市民との対話を反映し、生活基盤の整備や人口減少対策など創意工夫あふれる施策が並んでいる。中学生までの医療費無償化や「こども誰でも通園制度」の導入といった重層的な子育て支援に加え、学校給食の質の向上や学校体育館への空調設置など教育環境の充実が図られた。経済・産業面では、八女茶の海外販路開拓支援や起業を促進する「ローカル10000プロジェクト」など地域活性化に向けた新たな挑戦が評価できる。本予算案は、山積する諸課題に対し効率的な財源確保に努めつつ、市民生活の向上と地域経済の活性化に大きく寄与するものと確信し、賛成する。

議案第30号 令和8年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算

可決

反対討論（森議員）

令和8年度より高校生以下の均等割免除等が実施される一方、新たに「子ども・子育て支援納付金分」が加わるなど制度は複雑化を極め、実質的な値上げとなっている。令和8年度の賦課限度額は、新設分を含め計4万円引き上げられ、113万円に達する見込みである。国保特有の均等割・平等割により負担は異常に重く、その根本原因は国庫負担率が50%から25%へ半減した点にある。加入者の負担は既に限界を超えている。

議案第32号 令和8年度八女市後期高齢者医療特別会計予算

可決

反対討論（森議員）

後期高齢者医療制度は、無収入でも均等割が徴収され、一生涯保険料を払い続ける仕組みである。窓口負担は最大3割に増え、令和8年度の賦課限度額は5万円引き上げられる。さらに「子ども・子育て支援納付金分」の2万1000円が加わることで、限度額は一挙に7万1000円増の合計8万1000円に達する。医療費や後期高齢者増に伴い、際限なく負担が増える可能性がある。先進国の医療制度と比較して、高齢者を別枠とする異常な制度である。

3月定例会の採決結果（令和8年第1回定例会）

■は賛否が分かれた議案です

議案番号	議案名	採決結果
議案第1号	専決処分について（令和7年度八女市一般会計補正予算（第5号））	承認
議案第2号	八女市議会議員及び八女市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	八女市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	八女市大坪奨学基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	八女市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	八女市社会福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	八女市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号	八女市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第10号	八女市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号	八女市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号	八女市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決
議案第13号	八女市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決
議案第14号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第15号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決
議案第16号	市道路線の変更について	可決
議案第17号	市道路線の認定について	可決
議案第18号	市道路線の廃止について	可決
議案第19号	指定管理者の指定について（八女市下横山コミュニティセンター）	可決
議案第20号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について	可決
議案第21号	工事請負契約の締結について（八女市立岡山小学校増築工事）	可決

議決結果一覧

議案番号	議案名	採決結果
議案第22号	令和7年度八女市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第23号	令和7年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第24号	令和7年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第25号	令和7年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第26号	令和7年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第27号	令和7年度八女市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第28号	令和7年度八女市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第29号	令和8年度八女市一般会計予算	可決
議案第30号	令和8年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第31号	令和8年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第32号	令和8年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第33号	令和8年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第34号	令和8年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第35号	令和8年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第36号	令和8年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第37号	令和8年度八女市下水道事業会計予算	可決
議案第38号	教育委員会委員の任命について〈中尾 佐和子氏〉	同意
委員会提出 議案第1号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	人権擁護委員候補者の推薦について〈茅島 ひさみ氏、山科 和美氏〉	適任と認める
	ハラスメント防止条例調査特別委員会の設置について	設置

教育委員会委員・・・地域の教育行政を支える重要な役割を担っています。教育の中立性、継続性、安定性を確保し、地域住民の意向を反映させるために活動しています。

人権擁護委員・・・地域での人権の保護と啓発活動を行う役割を担っています。人権侵害の相談に応じ、問題の解決を支援するほか、人権意識の向上を図るための活動を行います。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：議長 議長は採決に加わりません	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	高橋 信広	花下 主茂	坂本 治郎	水町 典子	古賀 邦彦	久間 寿紀	原田 英雄	小山 和也	高山 正信	川口 堅志	田中 栄一	堤 康幸	石橋 義博	牛島 孝之	服部 良一	中島 信二	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	川口 誠二	橋本 正敏
議案第5号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第9号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第29号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第30号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第32号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—

傍聴者の声

傍聴者数：延べ51人

～議会を傍聴してのご意見・ご感想～（原文のまま記載）
貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

○質問者の努力にこたえて、市としてその改善に努力してください。

議会の傍聴方法をお知らせいたします。

【場所】八女市役所 本庁舎4階 議場

【時間】午前10時から



過去の一般質問を
ご覧いただけます。

八女市役所本庁舎の4階にて、議会の一般質問や議案審議を傍聴することができます。
市議会の定例会は、毎年3月、6月、9月、12月に開催されます。定例会では、市の重要な議題について議論が行われますので、議場にお越しく下さい。

定例会の日程は、八女市議会のホームページ、FM八女でお知らせしています。

傍聴をご希望の方は、当日4階の受付にて「傍聴受付簿」にご記入のうえ、議場にご入場ください。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



親子で傍聴できる
個室もあります！！



議場の傍聴席

汚水 汚水処理構想の見直しについて、先進事例を視察

汚水処理対策特別委員会は、1月15日に徳島県鳴門市を視察しました。

汚水処理構想と流域下水道

多くの地方自治体は汚水処理を行うために、地域の実情に応じて、下水道や農業集落排水施設、合併処理浄化槽などの施設整備に取り組んでいます。また、国は少子高齢化といった社会情勢の変化や経済性などから、汚水処理施設の未整備箇所を早期に解消し、令和8年度末までに汚水処理人口普及率を95%以上にする目標を定めています。（「10年概成」と呼ばれます。）そのため、各自治体は汚水処理構想を見直し、下水道区域を縮小させ浄化槽区域に変更するなど、早期の整備完了を目指した取り組みが進められています。

徳島県鳴門市においては、平成28年度の見直しで下水道区域1596haから651haへ、さらに令和4年度の見直しで324haに大幅に変更し、令和17年度の整備完了を目指しています。区域の変更は市民生活に及ぼす影響が大きく、県と市ともにパブリックコメントを実施しつつ、市民の理解を求めながら取り組まれています。

今後の課題は、県が管理する流域下水道へ接続している関連市町が下水道区域を見直したことにより、負担金を再調整する必要があるとのこと。

また、市の下水道施設の維持管理については、接続数の確保による使用料収入の向上や維持管理、更新費用の平準化を図り、一般会計からの繰入金金の縮減に取り組むとのことでした。



鳴門市での視察

調査を終えて

下水道は、多額の整備費に加え、維持管理費は利用者負担が原則の施設です。将来の人口減少社会を見据えれば、更なる見直しは必須であると考えます。本市においても、過去2回の見直しを行っていますが、物価高騰など様々な社会的要因も勘案しつつ、より一層の効率的な汚水処理を目標に、引き続き調査研究に取り組めます。

原田 英雄

議運 主権者の参画と議会改革の取り組み

議会運営委員会は、1月27日に島根県浜田市を視察しました。

主権者の参画を重視した議会運営の取り組み

浜田市議会では、議会と市民が双方で関わる「主権者教育の参画」を重視した取り組みが進められています。中心となる取り組みは、「はまだ市民一日議会」です。浜田市民のほか、市内に通勤や通学する人も参加できます。参加者は議場という公式な場において、市が抱える課題の指摘や市民の生活をより良くする提案を発言する機会が設けられており、市民の自由な表現が尊重されています。具体的には、一般質問のような形式で行われ、参加者の発言に対して、議員が質疑を行い、発言内容の意図を確認していきます。このようなやり取りを経て、より深い議論へとつなげているとのこと。単なる意見の発表に終わらせず、委員会での調査や提言を通じて、政策へ反映している点が特徴的です。実際に、子どもの遊び場の整備や学習スペースの確保など、市民の声が具体的な施策として実現されています。

また、「地域井戸端会議」という意見交換会が開催されています。この取り組みは、議員が地域に出向き、議会報告や市民の意見を聴く場として位置付けているとのこと。多様な主体と意見交換を行うために、特定の世代や立場に応じた意見交換の場を複数箇所設けており、市民と直接対話しながら地域課題の把握に努めています。



浜田市での視察

調査を終えて

主権者の参画は意見を聞くだけでなく、政策へ反映する仕組みづくりが重要であると考えさせられました。継続的な対話を通じて市民の声を施策へ確実につなげ、実効性ある議会運営が求められます。

高山 正信

聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.24

ミヤシノシャクナゲ園管理組合

つるだ ひろゆき
鶴田 博幸 組合長

もりまつ さだゆき
森松 定之 事務局長



ミヤシノシャクナゲ園は、平成12(2000)年に(故)田邊道康氏から星野村が譲り受け、4月から5月上旬にかけて約5千本のシャクナゲが咲きほこる奥八女の観光スポットです。今回は、園の管理運営をされている鶴田組合長(写真左側)と森松事務局長(写真右側)に、開園準備作業中の園内にてお話を伺いました。

管理運営に携わるようになったきっかけを教えてください。

本園は、田邊氏が長い期間をかけて山中に自生するシャクナゲを、自らの土地に移植して作り上げられた手作りの庭園です。現在は、市からの委託を受け、星野村上郷1区の役員を中心に地域住民の皆さんで守り育てています。

本日は、どのような作業を行っていたのですか。

4月10日からのシャクナゲまつりに備えて、来園者に安全に見学していただけるよう遊歩道の草刈りや補修作業、道路の清掃などを行いました。4月には、きれいな花が咲きほこる園内の散策をお楽しみいただけたと思います。

きれいな花を咲かせるには、どのようなことに心がけてありますか。

日頃から愛情をもって見守ることが大切ではないかと思えます。近年は気象の変化が著しく、干ばつや豪雨など樹体にとっても厳しい環境に

さらされます。木々の状況をよく観察し、適切な時期に適切な施肥を行うほか、稲わらを敷くなど樹体保護にも心がけています。

シャクナゲ園に携われた感想はいかがですか。

ここに来ると日々季節を感じ、花が咲きほこる春の幸福感が一番の喜びです。そこにお客様の喜ばれる声が聞こえた時は、何より嬉しく思います。樹齢や気象の変化等の要因もあるかと思いますが、最近は樹勢が弱って枯れる木が出てきており、全体に広がらないよう肥培管理に気を配っています。

市民の方へメッセージをお願いします。

4月10日から4月29日までシャクナゲまつりを開催し、5月2日までご覧いただけます。また5月3日には、来年の開花に備え、咲き終えたシャクナゲの花殻摘み作業を行う予定です。ボランティア作業にお越しいただける方は、何卒ご協力の程お願い申し上げます。【お問合せ先 星野支所地域振興係 : Tel.0943-52-3111】

編集後記

山は宝の山、田畑は生活基盤、商工業は町の華と言われた良き時代があった。戦後の復興から高度経済成長期は、日本全土において明るい未来があった。都会の急激な発展による人手不足のため、中学校を卒業したばかりの地方の若者は集団就職で親元を離れ、夜汽車に揺られ、故郷へ錦を飾ると町を出ていった。

時は流れ、地方では山や田畑の担い手不足が深刻となり、さらに商店街はシャッター街と言われる状況である。これを打開するには、残っている者で新たなふる里作りをしなければならない。地域で協働や知恵を出し合いながら、郷土愛を育み、人材育成に力を入れなければならない。

結局は、人が宝であったことを痛感する。

服部 良一

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員会	議長	発行責任者
花下主茂	坂本治郎	久間寿紀	原田英雄	小山和也	高山正信	服部良一	水町典子	古賀邦彦		橋本正敏	

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：5月26日(火) 予定

八女市役所本庁舎4階議場 午前10時から
議会事務局TEL: 23-4922

※日程は変更になることがあります。